

まちのうごき

(1月1日現在)	(12月中)	
世帯数 16,085世帯	生れた人 55人	
人口 50,938人	亡くなった人 16人	
男 25,233人	転入した人 34人	
女 25,705人	転出した人 70人	



“向日市の足跡をさぐる、市史(上巻)来春発刊の運び”

市史編さん事業本格的に作動

「向日市の歴史の足跡を明らかに」と、昭和五十三年度からスタートした「向日市史」編さん事業も、市制十周年の昭和五十七年発刊にむけて、いよいよ執筆作業に入りました。「向日市史」は本文編と史料編からなり、本文編は上巻・下巻で、来春にはまず上巻を発刊する予定です。



これら多くの文献史料から向日市の歴史が……

私たちの住んでいるまち向日市は、市民憲章の前文にもあるように、長い暮らしの歴史をもち、古くは「長岡京」の都が築かれた由緒あるところ。しかし、近年の急激な都市化の波を受け、市民の財産である過去の貴重な資料が失われつつあります。市史編さん事業は、まず市史編さん事業の基本計画市では、このような状況を踏まえて「向日市史編さん委員会」を組織し、ス

◆向日市史編さん委員は(五十音順・敬称略)
熱田公(神戸大教授)▽上田正昭(京都大教授)▽建口清(市議会議員)▽中山仙三(前市長)▽脇田修(大阪大教授)▽民秋徳夫(市長)
◆向日市史専門委員は(五十音順・敬称略)
熱田公(前掲)▽池田敏正(京都府立大教授)▽上田正昭(前掲)▽浮田典良(京都大教授)▽佐々木高明(国立民族学博物館教授)▽高橋美久二(京都府教育委員会文化財保護課)▽都出比呂志(大阪大教授)▽中山修一(京大文芸学教授)▽宮城公子(四天王寺女子大教授)▽山本四郎(京都女子大教授)▽脇田修(前掲)

「向日市史」は本文編と史料編
編さん委員会の計画により、向日市史は本文編・史料編からなり、本文編は上巻・下巻の二巻で構成されます。この資料収集は、一般市民の方、各区事務所、向日神社、その他多くの方のご協力により、すでに約五万点もの貴重な資料が調査されました。そして、その中でも特に重要な史料がマイクロフィルム(約二万枚)におさめられ、順調に調査が進められてきました。そして、このほど、向日市史発刊に関する概要が一次まとまり、いよいよ執筆作業にとりかかることになりました。

上巻は長岡京を中心
原始・古代と中世編
執筆作業が始められる上巻のメニューをのぞいてみると、上巻は原始・古代編(七章二十六節)と中世編(四章十三節)で構成されており、約七百ページのボリュームとなります。原始・古代編には、特に

◆上巻の内容は◆

序章	原始・古代編
第1章	自然環境と文化のあけほの
第2章	弥生文化
第3章	古墳文化
第4章	飛鳥文化から天平文化へ
第5章	長岡京のなりたち
第6章	長岡京の諸相
第7章	王朝の文化
中世編	
第1章	荘園の展開
第2章	郷村の成長
第3章	戦国動乱
第4章	中世の文化と文化財

資料のご提供を

市では、市史編さんのため、文献史料等の収集を行っています。ご家庭にこれらの資料をお持ちの方は、企画課(内線二七七)までご連絡ください。

◆上巻の執筆担当者は次の方々です。また、上巻のおもな内容(章名)は左図のとおりです。
◆上巻の執筆担当者は
▽足利健亮(京都大助教授)▽熱田公(前掲)▽井上満郎(京都産業大助教授)▽上田正昭(前掲)▽川上貢(京都大教授)▽金田章裕(追手門学院大助教授)▽山下雅義(立命館大教授)▽高橋美久二

昭和56年度建設工事・物品指名競争入札参加資格審査申請について

▷受付期間 2月2日(月)～28日(土)

▷申請用紙販売・配布場所
(1)建設工事の請負・上水道施設工事の請負
京都建設業協会(各支部)・全京都建設協同組合(各支部)・京都府庁内売吉
(2)物品の製造の請負および物品の買入れ
企画財政室財政課

▷提出先
(1)建設工事の請負 建設産業部土木課 水道部監理課
(2)物品の製造の請負および物品の買入れ
企画財政室財政課・水道部監理課

“犬はつないで正しく飼いましょう”

2月は「犬害防止強化月間」です。市では、この期間中、野犬や放し飼いの犬を麻酔銃や捕獲箱、毒エサなどを使って徹底的に捕獲します。ご協力ください。

■お願い■
▷飼い犬は昼夜を問わず、必ずつないで飼ってください。
▷毒エサのおいてある場所は、立札で明示しますので、近寄らないでください。
▷犬を散歩させる時は、必ずスコップ・ビニール袋などを携帯し、フンなどはつつんで持ち帰りましょう。
▷野犬を見つけた時は市役所か保健所までご連絡を。

■お問い合わせ 環境衛生課 内線226
向陽保健所 電話933-1151

必ずクサリにつないで飼いましょう